

第4次神奈川県ニホンザル管理計画事業実施状況に関する説明会 結果概要

参考資料1

	日時・場所	参加人数	市町村関係者等	県議会	主な意見
第1回	1月19日(日) 15:00~16:45 厚木合同庁舎2号館 4階AB会議室	9名 川崎市 1名 厚木市 3名 伊勢原市 3名 大磯町 1名 東京都 1名	伊勢原市職員(農業振興課)	・堀江県議	<ul style="list-style-type: none"> ・鐘ヶ嶽群の行動域が広がっている可能性がある。 ・山にエサがないため、山への追い上げは難しいのではないかな。 ・追い上げ目標エリアをもっと山奥にできないかな。 ・捕獲の手法について、技術的な支援をお願いしたい。 ・地域ぐるみの対策をするにしても、地域住民が高齢化していて、若い人材の確保が必要である。 ・除去の群れは目標に向けてしっかりと取り組んでもらいたい。
第2回	1月23日(木) 18:00~19:45 小田原合同庁舎 3階3EF会議室	12名 小田原市 7名 南足柄市 1名 大磯町 1名 箱根町 1名 湯河原町 1名 神奈川新聞 1名	小田原市職員(環境保護課) 南足柄市職員(環境課)		<ul style="list-style-type: none"> ・H群の全頭除去を早急をお願いしたい。 ・S群は箱根の生態系を構成するものとして必要。群れの除去より被害に対する補償のほうが重要だ。 ・種の保存がそんなに大事なら捕獲して柵の中で飼えばよい。なぜ農業者が柵の中で作業しないといけないのか。 ・頭数的には減っているが、行動が大胆になっている。 ・追い上げや追い払いに従事する者が高齢化していて時間が残されていない。 ・地形的に柵を設置するのが難しい。 ・サル被害について聞き取り調査を考えている。 ・H群は横方向に行動域を持つ群れのため、追い上げが難しい。 ・H群の頭数は30頭以下でもよいのではないかな。 ・H群を絶滅の可能性がある群れとしてレッドデータにされているのが納得できない。
第3回	1月25日(土) 14:00~15:45 相模湖交流センター アートギャラリー	33名 横浜市 1名 小田原市 31名 相模経済新聞 1名	相模原市職員(津久井地域経済課) 野元市議(相模原市)	・山口県議	<ul style="list-style-type: none"> ・強化的に追い払いを行ったことで、千木良地区にはサルが来なくなった。 ・管理計画ではなく、除去計画を作ってほしい。 ・なぜ山梨県や東京都のように銃でどんどん捕獲しないのか。 ・県には管理責任がある。 ・人里に下りてくるサルは全滅させてほしい。 ・このあたりの農地は小規模なものが多く、電気柵を設置するようなものではない。 ・銃器捕獲の許可期間が短すぎる。 ・目標頭数30頭とあるが、地域ごとにサルが生息できる環境なのか調査したうえで頭数を決めるべきだ。 ・佐野川地区にはK1群、K3群、K4群があり、次々とサルがやってくる。 ・サルは元々この地域にいなかったのだから、いわば外来種だ。外来種なら全滅させてもよいはず。 ・サルの頭数は減ったかもしれないが、被害は酷くなっている。 ・K2群は追い上げ先が無いということで、除去になっているが、K1群、K3群、K4群についても同じではないかな。 ・サルが多すぎて、イノシシの有害捕獲にも支障が出ている。 ・地元から意見を持ち上げ、市もしっかりと動かした方がいい。

合計人数

54名